

## ■行政による復興事業検証結果の概要

平成 26 年 4 月

小千谷市企画政策課まちづくり推進室

### 1. 検証の目的

復興計画に掲げた 6 つの復興課題とその目標を実現するために、34 の方針を定めました。その方針に沿って計画された個別の復興事業が、どこまでどのように進んでいるのかを検証し、残された、あるいは新たに発生した問題や課題を明らかにするものです。

### 2. 調査の内容

計 256 の個別事業について、担当課が事業の進み具合や経費などを調査し、状況報告と評価をしました。

個別事業の評価を方針ごとにまとめ、それぞれ ABCD の 4 段階で総合評価を行いました。なお、評価の基準は次の通りです。

- A：完了／予定通り進んでいる（100%）
- B：ほぼ予定通り進んでいる（75%～99%）
- C：予定より遅れている（75%未満）
- D：断念

### 3. 検証結果

方針ごとの総合評価については、別紙のとおりであり、83.2%が A 評価となっています。そのうち、既に完了しているものが 40.2%、現在進行中が 43.0%です。

また、計画した当初から状況やニーズに変化があり、実施する必要のないものや形を変えて実施すべきものが 12.1%となっています。

一方で、2.7%が計画よりも進行が遅れています。具体的には田園住宅の整備事業、環状道路整備事業、雁木通り整備事業、災害対応マニュアル作成事業等があります。実施できない理由としては、ニーズの変化による計画中断、国や県の認証が必要、住民が主体となって取り組む事業であることなど、様々な状況の変化に合わせて対応する必要があることが挙げられます。

# 行政による事業の検証

## 復興課題1 市民生活の復興

目標:生活を再建し、安心して生活できるまちにします

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
住宅の復興を支援し、生活の早期安定を図ります	自力住宅再建への支援をします	15	10	2				3	A:3減 F:3増
	集団・個別移転希望者への支援をします	3	3						
	高齢者など自己住宅再建の出来ない人のための公営住宅の整備を進めます	1	1						
A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		100.00%	小計	19	14	2		3	

方針総合評価	所見
A	震災の影響による早期支援(住宅再建、集団移転支援、災害公営住宅整備等)は完了した。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
地域の人々が安心して暮らせるよう、心と身体のケアの仕組みを充実させます	震災からの復興のため、保健、医療、福祉サービスを充実させます	4	2	2					
	仮設住宅入居者や避難者へのきめ細かなケアを行います	1	1						
A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		100.00%	小計	5	3	2			

方針総合評価	所見
A	計画された事業は概ね完了したが、心身のケア等は継続的課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
高齢者等の生活再建支援を進めます	高齢者のための介護を含む支援をします	8		8					
	高齢者の交通手段の確保をします	1		1					
	高齢者の健康づくりを進めます	3		3					
	障がい者への支援を進めます	4		4					A:4減 B:4増
A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		100.00%	小計	16		16			

方針総合評価	所見
A	震災による高齢者等の生活再建支援は概ね完了した。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
子どもたちが、生き生きと、明るく過ごせるまちにします	子どもたちが、生き生きと遊び、学べる環境を整備します	5	3	2					
	スポーツや文化活動を通して、子供たちのつながりを深めます	4	1	3					
	犯罪・事故から、子供を守ります	2		2					A:1減 B:1増
A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		100.00%	小計	11	4	7			

方針総合評価	所見
A	震災の影響はほぼ脱したと思われるが、継続的課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
子育て環境の整備をして、「子育て世代住みやすいまち」にします	子育て世代を支援するための保育サービスを充実させます	2		2					
	子育ての地域サポート体制の仕組みをつくります	6		6					
A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		100.00%	小計	8		8			

方針総合評価	所見
A	計画された事業は概ね完了したが、継続的な課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
若者の定着のための支援を進めます	若者の定着のための支援を進めます	3	1	2					A:1増 B:1減
	A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		100.00%	小計	3	1	2		

方針総合評価	所見
A	計画された事業は概ね完了したが、継続的な課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
スポーツを通じて健康で健康なまちづくりを進めます	スポーツ振興施策を進めます	5	3	1		1			
	A+B/方針ごとの事業数 (E、Fを除く)		80.00%	小計	5	3	1		1

方針総合評価	所見
B	震災の影響はほぼ脱したと思われるが、長期的に検討が必要な課題があるため、総合計画で対応する。

## 復興課題2 産業・経済の復興

目標:豊かな自然の恵みを活かし、経済、産業を活性化します

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組み予定	E:実施しなくてもできない	F:実施する必要性がない	
経済の早期復興を支援し、市民生活の安定を図ります	被災によって縮小した企業活動を元に戻すための支援を行います	4	2	2					A:1増 B:1減
	雇用維持と雇用創出を支援します	4	3					1	A:1減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く)		100.00%	小計	8	5	2			1

方針総合評価	所見
A	震災の影響による早期支援(企業活動の再開・就職支援等)は完了した。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組み予定	E:実施しなくてもできない	F:実施する必要性がない	
農業基盤の早期復旧を支援します	農地・農業用施設の早期復旧を進めます	8	4					4	A:1減 B:3減 F:4増
	農地の復旧に当たっては、生産効率と農業形態を考慮した整備を行います	5	2					3	A:3減 B:3増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く)		100.00%	小計	13	6				7

方針総合評価	所見
A	震災の影響による早期支援(施設復旧等)は完了した。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組み予定	E:実施しなくてもできない	F:実施する必要性がない	
新しい農業のあり方を目指します	農都共生により農村振興を図ります	13	5	2	1		1	4	A:2増 B:5減 C:1減 D:1減 E:1増 F:4増
	被災により再確認した食の大切さを忘れずに、安全性の高い地産地消の農業を目指します	2	2						
	山間地域を中心として、棚田等の景観保全を図ります	1		1					
	生きがい対策も含めた農業として、兼業農家の意義の再確認や市民農園の整備を進めます	2	1					1	A:1減 F:1増
	100年後も豊かな緑を残すために、植林及び里山整備を奨励し支援します	2	1					1	A:1増 B:2減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く)		92.31%	小計	20	9	3	1	1	6

方針総合評価	所見
B	計画策定後に状況が変化した課題もあり、継続的に検討が必要なため、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組み予定	E:実施しなくてもできない	F:実施する必要性がない	
地場産業の高度な技術を活かし、新産業への創造や、新しい分野への進出を支援します	新産業の創造を支援します	1		1					A:1減 B:1増
	新しい分野への進出を支援します	1		1					
	高速インターネット基盤を整備し、商工業情報の外部発信を支援します	1		1					
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く)		100.00%	小計	3		3			

方針総合評価	所見
A	産業の創造支援等は継続的課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組み予定	E:実施しなくてもできない	F:実施する必要性がない	
商店街の活性化を図ります	被災した商店の復旧を支援し、早期の商店街再生を支援します	2	1	1					B:1増 C:1減
	医療機関、バス停、アーケードがあり、魅力にあふれた生活しやすい場所としての商店街を再生します	3	2					1	D:1減 F:1増
	雁木を活かした街並み再生を支援します	1	1						
	郊外型店舗の集客力を活かし、市街地への誘客を図ります	1						1	C:1減 F:1増
	生活圏の商店街としての東小千谷商店街復活を支援します	4	2	1				1	A:2増 B:3減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く)		100.00%	小計	11	6	2			3

方針総合評価	所見
A	震災復旧は完了したが、経済状況等様々な影響を受ける継続的課題であり、総合計画で対応する。

豊かな自然と文化をもつ、「復興のまち小千谷」をキーワードに、知名度を活かした販路拡大と観光振興を目指します	震災による知名度を活かして、地域商品・新製品開発による販路拡大を進めます	3	1	2				
	おいしい小千谷市の特産品、そば、米、酒、山菜などを消費者に直接販売する仕組みを作ります	3	1	1			1	A:2減 B:1増 F:1増
	「被災地小千谷」「復興のまち小千谷」をキーワードに、小千谷市の豊かな自然の恵みと、文化をPRします	2	2					
	自然の豊かさ、恵みを体験し、また、その脅威を学ぶ観光を目指します	1		1				A:1減 B:1増
	文化、伝統、歴史的価値を複合的に活用し、観光を広めます	3	1	2				
	雪、錦鯉、闘牛を生かした観光振興を進めます	9	7	2				A:1減 B:1増
	生活圏の商店街としての東小千谷商店街復活を支援します	2	1	1				A:1増 B:1減
A+B/方針ごとの事業数 (E, Fを除く)	100.00%	小計	23	13	9			1

方針総合評価	所見
A	特産品の販路拡大や観光振興等は継続的課題であり、総合計画で対応する。

特区を利用して、産業の活性化を進めます	震災特区を利用して、産業の活性化を進めます	1					1	A:1減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数 (E, Fを除く)	0.00%	小計	1					1

方針総合評価	所見
D	計画していた特区申請が認められなかったため、取り組みを終了した。

### 復興課題3 安全・安心な社会基盤、都市基盤の復旧・復興

目標:災害に強いまちになるよう、社会・都市基盤の整備を行います

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
道路・河川の本格復旧を進めます	道路・河川の早期本格復旧を進めるとともに、経済性、機能性及び環境性を考慮した復旧を行います	13	2	8			1	2	A:1減 B:2減 C:1増 F:2増
	災害時に集落を孤立させないような道路整備を進めます	1					1	1	B:1減 F:1増
	市内環状線の歩道の早期整備を進めます	3	1				2		A:1増 B:3減 C:2増
A+B/方針ごとの事業数 (E, Fを除く)	100.00%	小計	17	3	8		3	3	

方針総合評価	理由
A	災害復旧工事は全て完了した。河川改修や道路整備等は継続的課題であり総合計画で対応する。

ガス、上下水道の早期復旧を進めます	管路、基幹施設の耐震化を進め、災害に強いガス、上下水道の本格復旧を進めます	8	5	2				1	B:1減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数 (E, Fを除く)	100.00%	小計	8	5	2				1

方針総合評価	所見
A	本格的な災害復旧工事は完了した。

二次災害を防ぐための調査と工事を進めます	地震で緩んだ地盤の、雪や雨による二次災害を防ぐために、調査と工事を進めます	2	2						
A+B/方針ごとの事業数 (E, Fを除く)	100.00%	小計	2	2					

方針総合評価	所見
A	震災による二次災害防止対策は完了した。

情報通信基盤の整備を進めます	災害時の情報伝達手段として、市全域のブロードバンド環境を整備します	1	1						B:1減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数 (E, Fを除く)	100.00%	小計	1	1					

方針総合評価	所見
A	情報通信基盤整備の方法を光回線敷設に変更し実施。継続的課題であり、今後も継続して対応する。

## 復興課題4 コミュニティーの強化

目標:震災直後の人の輪、助け合いを財産として活かし、伝統文化や郷土愛にあふれる充実した地域コミュニティを創造します

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
復興のために、市民のエネルギーを結集します	まちづくりを市民参画で行います	2		1	1				B:1減 C:1増
	市民の自主的な活動に対する支援を行います	3	2	1					A:1増 B:1減
	まちづくり協議会等の設置により、地震直後からの市民の復興意欲を大切に、明日のまちづくりを進めます	1						1	B:1減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 80.00%		小計	6	2	2	1			1

方針総合評価	所見
A	市民協働の推進によるまちづくりは継続的課題であり、総合計画で対応する。

地域の団結力を維持し、リーダーとなる人材を育成します	小千谷市の発展のために、人材をセミナー等で教育・育成します	3	1	2					A:1減 B:1増
	NPO、ボランティア活動を充実させます	1		1					A:1減 B:1増
	各地点の防災ボランティア組織をつくり、地域の点検と人の把握のサポート体制をつくります	2		2					
	地域が、助け合い支えあうコミュニティを確立します	3	1	2					A:1減 B:1増
	心の教育とともに、確かな学力を身につける教育を進めます	2	1	1					
	子供たちに、郷土愛を育む教育を行います	1		1					A:1減 B:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 100.00%		小計	12	3	9				

方針総合評価	所見
A	リーダーの育成や地域コミュニティの確立等は継続的課題であり、総合計画で対応する。

まつり、イベント、歴史・文化を通じて、まちを活性化します	文化財の復旧を進めます	4	4						
	自然、特産品を活かしたイベント実施します	3	2	1					A:1増 C:1減
	中止、延期したイベントを復活します	4		4					A:1減 B:1増
	イベントスタッフの市民公募などにより、手作りでイベントを行います	3	1	1	1				A:1減 C:1増
	イメージキャラクターをつくり。復興に向けて団結します	1	1						
	地域のふれあいを大切に復興を目指します	1		1					
	小千谷人気質を活かした、まちづくりを進めます	1	1						A:1増 B:1減
	歴史的な町並みをできるだけ保存します	1			1				A:1減 C:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 88.89%		小計	18	9	7	2			

方針総合評価	所見
B	震災の影響はほぼ脱したと思われるが、市民が自助で行う事業への支援方法の検討が必要である。

国際社会に対応した地域コミュニティをつくります	国際社会に対応した地域コミュニティをつくります	1		1					
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 100.00%		小計	1		1				

方針総合評価	所見
A	国際社会への対応については継続的課題であり、総合計画で対応する。

地域通貨やコミュニティビジネスを活用して、地域課題の解決を図ります	地域の問題解決のために、地域通貨を利用して市民相互の助け合いを促進します	1			1				
	まちおこしと、地域課題の解決、活性化のために、コミュニティビジネスの可能性を検討します	1		1					
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 50.00%		小計	2		1	1			

方針総合評価	所見
C	地域通貨やコミュニティビジネスの活用には課題が多く、総合計画で対応する。

## 復興課題5 災害に強いまちづくり

目標:あらゆる災害に対応できる、事前・事後、復興までを見据えた、命を守る防災体制を、協働で構築します

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度未までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要性がない	
「私たちのまちは、私たちが守る」を基本に、防災教育、訓練、仕組みづくりを進めます	子どもたちへの防災教育を進めます	1	1						
	10月23日を防災デーとして、市民参画の防災訓練を行います	1		1					
	地理情報の共有化を図り、災害に備えた地図作りを進めます(危険区域、避難所位置、井戸水・湧き水の場所など)	1		1					A:1減 C:1増
	災害時に備えた資源・物資の備蓄及び調達方法を確立します	1		1					A:1減 C:1増
	自主防災組織の設置の推進を図ります	1		1					
	市民活動も含めた災害時のマニュアル作成を進めます	1			1				A:1減 C:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 83.30%		小計	6	1	4	1			

方針総合評価	所見
B	原子力災害への対応等により遅れている事業もあるが、継続的課題であり、総合計画で対応する。

被災の記録、震災体験を保存、記録し、その教訓を発信します	メモリアルパークを建設し、地震の脅威を後世に伝えます	3	1	1				1	A:1増 B:1減 D:1減 F:1増
	震災体験をまとめ、文集を作ります	1	1						
	映像、写真、報道記録の保存をします	1	1						
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 100.00%		小計	5	3	1			1	

方針総合評価	所見
A	震災の記録・保存は一定程度確保できた。教訓の発信は継続的課題であり、総合計画で対応する。

災害時の情報伝達手段の整備と確立を図ります	市役所と町内を結ぶ、災害時の情報伝達手段の整備をします	2		2					A:1減 B:1増
	停電時等に備えて、ハイテクに頼らない情報伝達手段を確立します	2	1					1	A:1増 B:1減 C:1減 F:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 100.00%		小計	4	1	2			1	

方針総合評価	所見
A	防災ラジオの配置等により目的はほぼ達成したが、継続的課題であり、総合計画で対応する。

震災の教訓を活かし、他地域、全国への貢献をします	支援・救援物資の備蓄と、輸送・調達方法を確立します	1		1					
	他地域で災害が起こったときの支援体制をつくります	1		1					
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 100.00%		小計	2		2				

方針総合評価	所見
A	ネットワークおぢやの発展等により体制は整ったが、継続的課題であり、総合計画で対応する。

住宅、建物、まちの防災力を高めます	個人住宅の耐震性強化を促進するための補助等の制度をつくります	1		1					B:1減 C:1増
	学校、体育館等の公共施設の耐震性を強化し、緊急時の避難所としての能力を	2	2						A::1増 B:1減
	宅地造成を行うときは、防災機能を有した団地造成に努めます	1		1					
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 75.00%		小計	4	2	1	1			

方針総合評価	所見
B	個人住宅の耐震化を含め、まちの防災力向上は継続的課題であり、総合計画で対応する。

災害時の応援体制や、サポート体制をつくります	行政、医療機関、事業者による災害時支援体制を確立します	1	1						
	24時間体制の弱者サポート体制をつくります	1		1					
	他市町村との災害時の相互応援協定を結びます	1		1					
	災害時に備えたボランティアセンターの組織整備を進めます	1		1					A::1減 B:1増
A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く) 100.00%		小計	4	1	3				

方針総合評価	所見
A	災害時の応援体制は整ったが、災害時相互応援協定等は継続的課題であり、総合計画で対応する。

## 復興課題6 復興の進め方

目標:財政破綻をしない復興、市民全員の復興、全国に対する誇りを持った復興をします

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要がない	
財政破綻を起こさないペースで復興する	短期に授業が集中し、地元業者で対応できないことのないように、ペースを考えて復興します	1		1					
	復興のための施策・事業に順位をつけて、市民で合意して復興します	1		1					
	A+B/方針ごとの事業数(E、Fを除く)	2		2					
小計		2		2					

方針総合評価	所見
A	震災復興による財政破綻は回避されたため、取り組みを完了した。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要がない	
行政コストの削減を進める	人件費の削減を図ります	1	1						
	施設やインフラ整備にあたっては、費用対効果を考え、順位をつけて必要なものから行います 場合によっては我慢します	1						1 B::1減 F:1増	
	今まで行ってきた事業を見直し、新しい発想で歳出の削減に取り組みます	2	1	1				A::1増 B:1減	
	ごみの有料化など、他市町村で有効と判断された施策を積極的に取り入れま	2		2					
	市の事業で市民の助け合いによってできるものは、市民の手で行います	1		1				A::1減 B:1増	
小計		7	2	4				1	

方針総合評価	所見
A	継続的課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要がない	
復興のなかで行政運営の進め方を考え直す	今までの仕組みにこだわらず、改革を進めます	1	1						A:1増 B:1減
	市民への情報開示、情報共有を進めます	2	1	1					A::1増 B:1減
	市民のなかに、不公平感の残らぬよう、復興の押し付けにならないよう復興を進めます	1						1 B::1減 F:1増	
小計		4	2	1				1	

方針総合評価	所見
A	継続的課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
復興のための資金作りを進める	必要なくなった私有財産や、民間で経営できる事業については、売却して復興資金にあてます	1			1				
小計		1			1				

方針総合評価	所見
A	継続的課題であり、総合計画で対応する。

方針	施策	事業数	進捗状況						中期との比較
			A:24年度末までに完了	B:計画どおり進行中	C:計画どおりに進行していない	D:今後取り組む予定	E:実施したくてもできない	F:実施する必要がない	
全国からの注目に対して、誇りを持って復興を進める	全国からの注目に対して、誇りを持って復興を進めます	1			1				
	震災時の支援への感謝を、全国に発信します	2	1	1					
	市民の手による住みよいまちづくりを進めます	1	1						A::1増 B:1減
小計		4	2	2					

方針総合評価	所見
A	震災の影響はほぼ脱したと思われるため、事業実施による震災からの復興は概ね終了した。

事業合計数: 256

完了	進行中	遅れている	今後実施	できない	必要がない
103	110	7	1	4	31
40.2%	43.0%	2.7%	0.4%	1.6%	12.1%